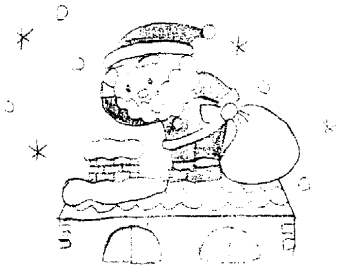


# すみれ組だより 12月号

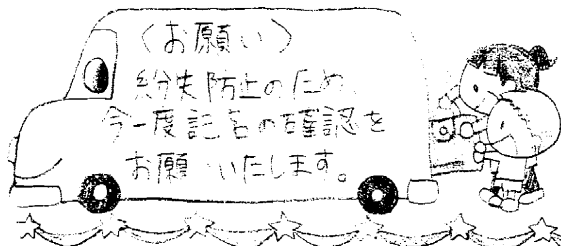
平成29年 12月20日 こども保育園 担当：盛村



吐く息の白さに喜び、何度も繰り返しては笑顔を見せる子ども達。寒さが身に染みる季節となりました。

さて、すみれ組では給食や自由遊びの前には子ども達と「時計の長い針が〇になったらごちそうまたよ」とい、終わりの時間を決めて遊ぶ始末をしています。最近では「もうすぐ長い針が〇になるよ」、「ほら、見てごちそうまたの時間だ」と友だちと話をしたり、保育者に教えてくれる姿が見られるようになりました。また、時間外の室内遊びでは、「先生、長い針が何にならうか教えて」と聞きに来てくれる子もいます。

約束の時間になる少し前に子ども達が玩具をしまいやすいように箱を保育者が動かしていると「先生、まだ片づけの時間じゃないよ」と話し掛ける子がいました。保育者の行動を見て時計を気にしたことが分かり、気がつくのが遅いと感じました。理由を伝えると悔しそうな表情になり、遊びに戻るとき、時間になると「皆、時間だよ」と元気な声で支えを呼ぶ姿が見られました。



これからは子ども達が時計に興味を持ち、時計の大切さを知れるように頑張りたいと思います。

